

# 国史跡上野城跡・城代屋敷跡

伊賀市教育委員会

## 上野城の歴史

くにしせきうえのじょうあと  
国史跡上野城跡は、上野盆地のほぼ中央部に位置する標高160～180mの丘陵に築かれた  
ひらやまじょう てんしゅう やまとこおりやま いほう つつい さだつぐ  
平山城です。天正13年(1585)に大和郡山より伊賀国へ移封された筒井定次により丘陵最高

ほんまる  
所に本丸が造られ、本丸北東に三層の  
てんしゅう  
天守が建てられました。筒井天守跡の  
北西側には昭和11年(1936)に北部配水  
池が造られ、その南側に天守が所在し  
たことを記す石碑が建てられています。

けいちょう にゅうほう とう  
慶長13年(1608)に新たに入封した藤  
どうたかたら へんぼう  
堂高虎によって、上野城は大きな変貌  
をとげます。従来は豊臣方の城として  
の役目を担った上野城は、江戸開府後  
は逆に西の豊臣方に対する備えを任務  
とするようになり、郭が新たに西へ拡

ちくぞう  
張され、そこに内堀や高石垣に囲まれた本丸が新たに設けられました。本丸ほぼ中央には

五層の天守の築造が始まりましたが、完成  
直前の慶長17年(1612)に暴風雨により倒壊  
しました。やがて、慶長19年(1614)の大坂  
ふゆ じん げんながん なつ じん とくがわ  
冬の陣、元和元年(1615)の夏の陣で徳川方  
が勝利を得たことにより、藤堂藩治世下で  
てんしゅうかく さいけん しょうわ  
は天守閣は再建の機会を失い、昭和10年  
(1935)にかわさきかつ ふっこう いが  
(1935)に故川崎克氏により復興天守(伊賀  
ぶんかさんぎょうじょう  
文化産業城)が建設されるまで、天守台の  
石垣だけが残されました。

かんえい  
そのため、寛永17年(1640)以降の藤堂藩  
による伊賀国の治世は、筒井時代の本丸跡  
に設けられた城代屋敷で政務が執り行われ  
ました。上野城代職は代々藤堂采女家が勤



上野城遠景



上野城跡測量図

## 絵図(御城内絵図)と検出された遺構

【台所門西側石垣・西から】



絵図では石垣基底部は直線的に描かれていますが、実際の北側は鉢巻状を呈します。

【台所門東側石組溝・南から】



クランク状に屈曲した石組溝で、方形の割石が使われています。

【台所棟北側土塀・東から】

瓦を葺いた塀に沿って南側に石組溝が見られ、北側にも雨落ち溝が検出されました。上記に示した台所門の溝につながります。



【奥向建物西側・南から】



方向の異なる南北方向の石列が2列検出されました。西側は台所棟東側柱列、東側が奥向建物西側柱列に相当します。台所棟北側に向かうL字状に屈曲する石組溝も検出されています。

【南側周縁建物群・北から】



屋敷地南半では、東端の根石列が良く残っていました。また、これらの根石列と同じ方向でありながら、絵図に表現されない礎石列・根石列も検出されています。

め、城代屋敷には城代としての公的な建物と、采女家の私的な建物が存在しました。

『二十三号上野城内屋敷図』では、屋敷の平面が色分けして示されていて、赤(御上作事)・黄(自分作事)・紫(勝手建物自分作事)・青(自分作事)のただし書きも見られます。このことから、主に屋敷南側に公的な建物(表向建物)が配され、北側に私的な建物(奥向建物)が造られていたことがわかります。

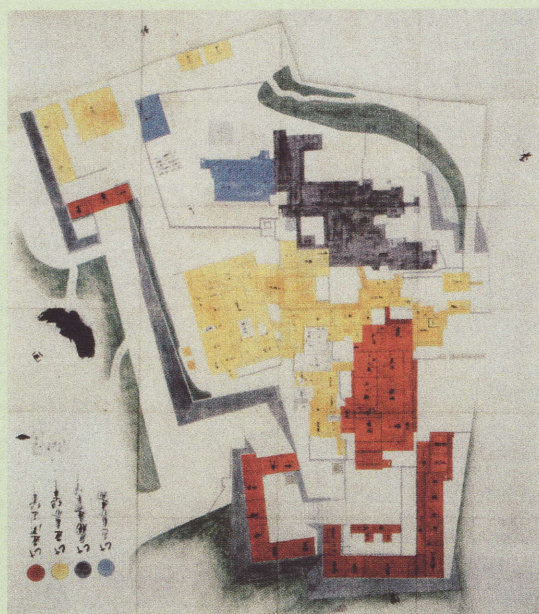
えどじだい はそん しゅうり そうちく  
江戸時代に破損と修理・増築を繰り返した  
城代屋敷の建物は明治6年(1873)の上野城廃  
じょう はきやく こう  
城とともに破却されたとき、上野城内は荒

はい いっとう  
廃の一途をたどりましたが、明治19年(1886)には公園化され、昭和に入ると当時上野町長  
しょうわ  
を務めた田中善助氏らにより本格的な公園整備が始められました。昭和10年(1935)には伊  
たなかぜんすけ  
賀文化産業城の落成を記念して全国博覧会が催され、昭和27年(1952)に「世界こども博覧  
らくせい ぜんこくはくらんかい もよお  
会」が開催された際には城代屋敷跡でも野外劇場等のパビリオンが建設されたようです。

かいさい  
一方、筒井時代の本丸は上野市街地の最高所に位置することから、昭和11年(1936)には  
筒井天守台付近が南西に拡張造成され、その東側にまず北部第1配水池が建造され、その  
けんぞう  
後の昭和27年(1952)には第2配水池が、昭和39年(1964)には隣接して給水タンクが建造さ  
かいはん  
れました。こういった部分的な改変を後世に受けながらも、本丸部分とその周辺は築城時  
きゅうたい  
の旧態を良くとどめていることから、昭和42年(1967)に国史跡に指定されました。

### 城代屋敷跡の発掘調査

伊賀市教育委員会(旧上野市教育委員会)では、平成11年度から平成13年度にかけて「史  
ほぞんかんりけいかくしょ さくてい ほぞんせいびじぎょう  
跡上野城跡保存管理計画書」(平成7年3月策定)に基づき、保存整備事業を進めるための  
基礎資料を得るために3ヶ年にわたって発掘調査を実施しました。さらに平成14年度から  
はくつちょうさ  
は、平成14年3月に策定された「史跡上野城跡保存整備(前期)実施計画」により、3ヶ年  
の調査で得られた成果を元にして、城代屋敷が所在した筒井本丸の全域に発掘区域を拡張  
ぼくまつ  
して調査を継続して実施しています。これらの発掘調査により、絵図(特に幕末に描かれ  
た『御城内絵図』)に描かれた建物と、実際の遺構との対比が可能となり、絵図には見ら  
れない筒井時代もしくは江戸前期の遺構も検出されています。



二十三号上野城内屋敷図